

令和3年6月18日(金)

開会（9：56）

○小野徳重委員長

開会宣言。出席委員が定足数に達し、会議が成立した旨、宣言。当委員会に審査を付託された案件は、補正予算1件である。

議案の審査に入る前に、副市長よりあいさつをお願いしたい。

○高橋副市長

おはようございます。昨日、ロイヤル胎内パークホテルに行った時に大型バスが2台来ていた。十日町市の小学生52人が修学旅行で宿泊。市内の小中学生について教育委員会に確認したところ、小学生は県内の縛りがあり相変わらず佐渡が一番。中学生は今までディズニーランドや関西に行っていたが、やはり県内ということで上越、中越あたりに行っているようであった。ロイヤル胎内パークホテルのこれからの状況は、秋までに10校ほど修学旅行で訪れる。月末には長岡中学校120人全館貸し切りで利用。距離は近いが児童生徒にとっては、一生に一回の修学旅行となるので、良い思い出作りがお手伝いできればとロイヤル胎内パークホテルの社員にも話してきた。本日は当委員会に付託された案件が補正予算1件ということで審議願いたい。

議第56号 令和3年度胎内市地域産業振興事業特別会計補正予算（第1号）

○榎本農林水産課長説明

歳入歳出予算の総額に、それぞれ95万7千円を追加し、その総額を2億6,105万7千円とするものである。

歳出としては、第1款農林水産業費1項4目農産物加工施設運営費の10節需用費の修繕費45万7千円増額。第4款予備費を50万円増額した。宮久にある胎内高原ミネラルハウスの井戸の給水ポンプ制御盤が落雷により故障したことで製造ができなくなり、早急に修繕を行う必要が生じたことから既存の予算45万7千円と予備費50万円を充用して対応した。これにより予定をしていた施設整備の修繕に要する経費と不測の事態に対応するための予備費を増額するもの。

一方、歳入では、4款繰入金を増額した。なお、災害共済金については、確定次第対応する。

## 質疑

○渡辺栄六委員

工場建設から何年になるのか。補償期間はあるのか。

○榎本農林水産課長

宮久にある元々の工場で10年以上たっているのだから補償期間は過ぎている。落雷によるため補償はきかず保険で対応する。

○渡辺栄六委員

故障で製造に影響あったのか。受注に対する生産量の状況は。

○榎本農林水産課長

制御盤の故障によりポンプが動かなくなった。長岡に代替えの機械があったので当日のうちに改修し、1日だけ操業をストップした。1日あたり1万本前後製造しているが止まった分はその後製造数を増やして対応した。販売の状況ですが、昨年度はコロナの影響でイベント等が中止されたこと等からプライベートブランド商品（イベント等に使用する商品）の販売は減っている。今年の3月以降は例年並みに戻って来ている。

○渡辺宏行委員

新しい工場の稼働状況はどうなっているのか。立ち上げた時に設備的に思ったとおり稼働しないとスタート時点であったが、今現在予定どおりの生産がされているのか。

○榎本農林水産課長

第2工場の生産状況ですが、製造に入る前に皆様に工場の設立で説明した時に能力的には月100万本あるが、実績的には、10%くらい。生産能力に対して1割程度の稼働になっている。会社の目標とすると年間450万本であるので、25%程度の稼働しかない。昨年営業の担当が辞めたり、コロナで営業に出られない状況もあり新しい取引先の開拓に至っていない。先般の取締役会、株主総会でもそこを強化していきたいとの話をもらっている。

○渡辺宏行委員

第2工場は当初ザイホウの関係で増産体制を見込んで月産50万本はいくということから立ち上げた。現在ザイホウとの関係は切れたのか。ザイホウ分は入っているのか。将来的に新たな販路開拓の手はあるのか。

○高橋副市長

第2工場で製造しているミネラルウォーターに関しては、ザイホウには現段階では出ていない。第1工場で製造しているミネラルウォーターはザイホウに販売している。理由としては、ザイホウが求めている水の硬度。超軟水として売っている。第1工場の硬度が14、第2工場の方が30くらい。軟水は50以下。どちらも軟水だけど、ザイホウは超軟水が望ましい。第2工場の水は、硬度の問題と価格の問題で現段階では、大量にザイホウへの販売には至っていない。隣にある簡水の井戸は高度が低いので、今後井戸を使い続けることにより硬度が下がる可能性がある。今後ザイホウとも話し合うし、新たな人員体制の中で新たな販売先を開拓する必要があると考えている。

○坂上隆夫委員

故障したポンプは第2工場には繋がっていないのか。

○榎本農林水産課長

第1工場だけのポンプである。フィッシングパークの道路挟んだ反対側に井戸がありそこから給水している。

○坂上隆夫委員

同じ水を作っても硬度は違ってきているのか。

○榎本農林水産課長

委員のいわれるとおり第1工場が14、第2工場が33。どちらも超軟水ではある。

○渡辺宏行委員

硬度の関係。ザイホウという大口が見込めないのになぜ第2工場を作ったのか。作る時に水質検査はしなかったのか。ザイホウの要求する硬度は明確にされていなかったのか。生産されてから要求が変わったのか。

○高橋副市長

第2工場作る時にあらかじめ井戸を作り水質を確認してはいない。工場を建てて同時進行で井戸を掘った。すぐ隣の簡水の井戸の硬度が低かったので大丈夫だろうとスタートしたところに問題があると思う。現段階では硬度33である。

○八幡元弘委員

ザイホウが求めるのは、硬度と価格のどちらになるのか。

○高橋副市長

ザイホウは、値段もそうであるが、硬度も低いものを求めている。明確にスタートする前に何以下でないと買わないという契約を結んだわけではない。

**自由討議**

無し

**採決**

全員異議なく、可決すべきと決定。

**閉会（10：14）**